

平成13年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成13年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成13年11月26日(月)に池之端文化センターにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者17名、委託関係者60名ほか、計86名の参集を得て、除草剤16薬剤

(177点)、生育調節剤3薬剤(26点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成13年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/㎡ ;処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 顆粒水和剤 シクロス/フアムロン 66%	コウライシバ	適用性 継 続	美野里GC、 大月CC、 花屋敷GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ®/アツブ® 水和剤 0.3g<200-250>	実・ 継	実) [(コウライシバ®、ノシバ®、ケンタッキー® ブルーグラス、ペレニアルライグラス)一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前〜発生 初期(3葉期まで)、 ・ 0.03〜0.06g<200〜300ml>。 ・ 土壌処理または茎葉処理。 継) ・ 実証試験での確認。
			美野里GC、 大月CC、 花屋敷GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; ダブ®/アツブ® 水和剤 0.3g<200-250>		
	ノシバ®	適用性 継 続	那須ナセー、 佐野GC、 南長野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブ®/アツブ® 水和剤 0.3g<200-250>		
			那須ナセー、 佐野GC、 南長野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; ダブ®/アツブ® 水和剤 0.3g<200-250>		
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌不二/イムGC、 東日本G研、 那須ナセー (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インパード®DF 0.04g<200-250>		
			札幌国際CC、 東日本G研、 那須ナセー (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; インパード®DF 0.04g<200-250>		
	ペレニアル ライグラス	適用性 継 続	泉パークタウンGC、 利府GC、 奥武蔵CC (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
			泉パークタウンGC、 利府GC、 奥武蔵CC (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期 0.03、0.045、0.06g<200-250> ; 茎葉処理 ; 一任		
[BASF7770]						

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
2. DAH-981 水和剤 ジネチール 40%	ケンタッキー ブルー グラス (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 那須ナセリー (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1 < 250>、 0.2 < 500>、 0.4g<1000> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルー グラス、ペレニアルライグラス) 一年生 イネ科雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.05~0.1g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ケンタッキーブルーグラスの連用試験の 継続。
	ペレニアル ライグラス (倍量)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス (連用)	作用性 新 規	グリーンフレイター、 那須ナセリー (2)	[連用薬害] H13春→H13秋→H14春→H14秋 雑草発生前 0.1g<200-300> ; 土壌処理		
3. DEH-115 ゾル フロスタム 5%	コライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 那須ナセリー、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 0.02、0.04、0.08ml<150> ; 茎葉処理 ; インターロウ 0.03<150>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで)。 ・ 0.02~0.04ml<100~200ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 草種と処理時期について。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 那須ナセリー、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
4. FN-502 顆粒水和剤 カルフェントラゾンエチル 40%	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期 0.015g、0.02g<150-200> ; 茎葉処理 ; MCPP 1.0ml<200>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、 雑草発生初期(3葉期まで)。 ・ 0.015~0.02g<100~200ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 草種と処理時期について。 ・ 倍量薬害試験での確認。
	ノシバ	適用性 新 規	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
5. HOK-9801 水和剤 イネキサベン テニクロール 5% 50%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 中国G連G研 (2)	[連用薬害] H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.4g<200> ; 土壌処理	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。 ・ ケンタッキーブルーグラスにおける効果 、薬害の確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 札幌不二イムGC、 利府GC、 那須ナセリー (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<200> ; 土壌処理 ; ハナフィン顆粒水和剤 0.6g<200>		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
6. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシスルフロン 60%	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 総武CC、 大阪農技セ、 西日本G研 (4)	[一年生広葉雑草;低薬量による 土壌処理の検討] 雑草発生前 0.015、0.02、0.03 g<250> ;土壌処理 ;タサシ水和剤 0.04 g<250>	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ベントグ [®] ラス、 ケンタッキーブルーグ [®] ラス、ベレニアルグ [®] ラ ス) 広葉雑草、ハマスグ、ヒメグ [®]] ・ 芝生育期、雑草発生初期(3葉 期まで)。 ・ 広葉雑草 0.03~0.06g、 ハマスグ・ヒメグ [®] 0.045~0.075g、 <200~300ml>。 ・ 土壌処理。 [(コウライシバ、ノシバ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.015~0.03g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ベレニアルグ [®] ラスの倍量薬害試 験、連用試験での確認。
[アベンティス クロップ サイ エンス シオノギ]	ノシバ	適用性 継 続	南長野GC、 関西G研、 西日本G研、 祁答院GC (4)			
7. HW-013 液剤 MCPPカリウム 0.25%	コウライシバ	適用性 新 規	東日本G研、 植調研究所、 宇都宮大学、 大阪農技セ、 中国G連G研 (5)	[広葉雑草] 雑草生育期 200、300ml<原液散布> ;茎葉処理 ;MCPP液 0.5ml<200>	実・ 継	実) [(コウライシバ)一年生広葉雑 草] ・ 芝生育期、雑草生育期。 ・ 150~200ml<原液散布>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 低薬量での効果の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実用処理方法での検討。
8. IDH-1105 顆粒水和剤 トリアツフラム 60%	コウライシバ	適用性 継 続	奥武蔵CC、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.04、0.05、0.06g<200-300> ;土壌処理 ;イデトップフロアブル 0.1ml<200-300>	実	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.04~0.06g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。
	ノシバ	適用性 継 続	リバー富士CC、 関西G研 (2)			
	コウライシバ	実 証	吉見G場、 東広野GC (2)	[実証試験] 雑草発生前 0.05g<250> ;土壌処理 ;慣行薬剤		
[出光興産]	ノシバ	実 証	吉見G場、 東広野GC (2)			
9. KUH-007 顆粒水和剤 カフェンストール 45% レナシル 25%	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 宇都宮大学、 兵庫農技、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<250-300> ;土壌処理 ;パナフィン顆粒水和剤 0.6g<250>	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前~発生 初期(3葉期まで)。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理または茎葉処理。 継) ・ 発生初期処理における低薬量 での効果の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
			東日本G研、 宇都宮大学、 兵庫農技、 佐賀CC (4)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2、0.3、0.4g<250-300> ;土壌処理 ;ワフIIワフ [®] 0.3ml<250>		
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研、 宇都宮大学、 中国G連G研、 門司GC (4)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2、0.3、0.4g<250-300> ;土壌処理 ;パナフィン顆粒水和剤 0.6g<250>		
[理研グリーン、 タミイ化学工業]			東日本G研、 宇都宮大学、 中国G連G研、 門司GC (4)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2、0.3、0.4g<250-300> ;土壌処理 ;ワフIIワフ [®] 0.3ml<250>		

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
10. MAC-1 フロアブル剤 グムロン 45% [丸紅]	ベント グラス (グリーン)	実 証	泉パークタウンGC、 美野里GC、 琵琶湖CC (3)	[実証試験] 雑草発生前 1.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 1~2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。
11. NOJ-120 顆粒水和剤 トリフロキシスルフロソ ナトリウム 塩 75%	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H12秋→H13春→H13秋→H14春 雑草発生前 0.006g<150-250> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ) 一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前~生 育期 (5 葉期まで)。 ・ 0.003~0.006g <200~300ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ ノシバに対する効果について。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 継 続	小杉CC、 東日本G研、 浜松シサイトGC、 大阪農技セ、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.003、0.0045、0.006g <150-250> ; 茎葉処理 ; シバゲン水和剤0.03g<150-200>		
			小杉CC、 東日本G研、 浜松シサイトGC、 大阪農技セ、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ②雑草生育期 0.003、0.0045、0.006g <150-250> ; 茎葉処理 ; シバゲン水和剤0.03g<150-200>		
	ノシバ	適用性 継 続	グリーンブライヤー、 吉見G場、 総武CC、 関西G研、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.003、0.0045、0.006g <150-250> ; 茎葉処理 ; シバゲン水和剤0.03g<150-200>		
			グリーンブライヤー、 吉見G場、 総武CC、 関西G研、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] ②雑草生育期 0.003、0.0045、0.006g <150-250> ; 茎葉処理 ; シバゲン水和剤0.03g<150-200>		
[シシエンタ ジャパン]	コノテカシ リ、ツツ 類 他3種	緑化木	東日本G研、 鳥取園試 (2)	[緑化木に対する影響] 0.006g<150-250> ; 茎葉処理 0.012g<150-250> ; 土壌処理		
12. RGH-941 フロアブル剤 アラクロー 40%	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	[連用薬害] H11春→H11秋→H12春→H12秋 雑草発生前 1ml<200-300> ; 土壌処理 (H11春はRGH-965で実施)	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブルーグラス) 一年生雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.6~1ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 実証試験での確認。
	コウライシバ	適用性 継 続	ブラッサムカークン、 美浦GC、 宮崎CC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6、0.8、1.0g<200-300> ; 土壌処理 ; コウライシバ、ノシバ ランレイ乳剤 1.2ml<300> ブルーグラス バナフィン顆粒水和剤 0.6 g<250-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	ブラッサムカークン、 美浦GC、 宮崎CC (3)			
[理研グリーン]	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 東日本G研、 植調研究所、 那須ナゼリー (4)			

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量 ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
13. SB-5521 顆粒水和剤 ベンディメタリン 53%	コウライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[連用薬害] H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.6g<200-250> ; 土壌処理	実	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草(キ科を除く)] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.3~0.6g <200~300ml>。 ・ 土壌処理。
[エス・ディー・エス ハ・イテック]	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[一年生雑草(キ科を除く)] 雑草発生前 0.3, 0.45, 0.6g<200-250> ; 土壌処理 ; ウェイアップ・フワフワ® 0.5g<200-250>		
	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (4)			
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (4)			
	コウライシバ	実 証	美浦GC、 門司GC (2)			
[三共]	ノシバ	実 証	美浦GC、 門司GC (2)	[実証試験] 雑草発生前 0.45g<200> ; 土壌処理		
14. SW-981 水和剤 カフエントロール 50% エトキシスルフロ 8%	コウライシバ	実 証	ブラッサム・チン、 リバー富士CC (2)	[実証試験] 雑草発生前 0.3g<200-300> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2~0.4g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 多年生広葉雑草に対する効果 の確認。 ・ 連用試験での確認。
15. TH-913H4 フワフワ®剤 イマゾスルフロ 40%	ベント グラス (倍量)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2ml<250>、 0.4 <500>、 0.8 <1000> ; 茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキー® ーグラス、ベントグラス)一年生広葉 雑草、ヒメグサ] ・ 芝生育期、雑草発生前 (3 葉期まで)。 ・ 0.1~0.2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。
[武田薬品工業]	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研、 リバー富士CC、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; シバタイフワフワ® 0.8ml<200-300>		[コウライシバ]チトメグサ類 ・ 芝生育期、雑草発生前。 ・ 0.2ml<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ベントグラスにおける効果、薬害 の確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ベント グラス	適用性 新 規	グリーンライナー、 東日本G研、 奥武蔵CC、 関西G研、 祁答院GC (5)	[一年生広葉雑草、チトメグサ] 雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; インプール水和剤 0.3g<200-300>		
16. KUH-913 液剤 ビースト・リパクタトリウム塩 3%	ベント グラス	作用性 新 規	宇都宮大学 (1)	[ス・メノカタビラ(出穂及び生育抑 制効果)] 4, 5, 6月に1ヶ月毎及び9月下旬~ 10月上旬(ス・メノカタビラ生育期)	継	継) ・ 効果、薬害の確認。 ・ 処理時期について。
[理研グリーン、 クマイ化学工業]		適用性 新 規	朝霧・サンボリーGC、 静岡C浜岡C、 宇都宮CC (3)	0.2ml<200> ; 茎葉処理		

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ml>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AEH-001 SC剤 エスレド 34.5% サイクロアザリト 4.3% [アヘンティス クロップ サイ エンス システム]	ベント グラス	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[品質向上] 芝生育期 0.25、0.5、0.75g<150-200> ; 茎葉処理	実 ・ 継	実) [(ノシハ) 生育抑制効果によ る刈込み軽減] ・ 芝生育期. ・ 0.5~1ml<100~200ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ ケンタッキーブルーグラス、ベレニアライグラス における効果、薬害の確認. ・ 処理時期について.
	ノシハ	適用性 継 続	利府GC、 東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[草丈伸長抑制効果、芝への影 響] 芝生育期 0.5、0.75、1g<150-200> ; 茎葉処理		
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 新 規	札幌国際CC、 那須ナセー (2)	[草丈伸長抑制効果、芝への影 響] 芝生育期 0.25、0.5、0.75g<150-200> ; 茎葉処理		
	ベレニア ライグラス	適用性 新 規	泉パークタウンGC、 利府GC、 奥武蔵CC、 浜松シーサイト GC (4)	[草丈伸長抑制効果、芝への影 響] 芝生育期 0.25、0.5、0.75g<150-200> ; 茎葉処理		
2. CG-186 マイクロエマルジョン剤 トリネキサックエチル 10.4% [シンジェンタ ジャパン]	ベント グラス	適用性 継 続	那須ナセー、 大月CC、 中国G連G研 (3)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.07、0.11、0.14ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プリミスWSB水和剤 0.04 g<150-250>	実 ・ 継	実) [(コウライシハ、ノシハ、ベントグラス、 ケンタッキーブルーグラス、パーミューダグラス) 生育抑制効果による刈込み 軽減] ・ 芝生育期. ・ コウライシハ、ノシハ; 0.05~0.1ml、 ベントグラス、パーミューダグラス; 0.07~0.14ml、 ケンタッキーブルーグラス; 0.1~0.2ml <150~250ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ パーミューダグラスの年次変動の確 認. ・ 処理時期について.
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌不二ロイヤルGC、 グリーンフライヤー、 小杉CC (3)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.1、0.15、0.2ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プリミスWSB水和剤 0.06g<150-250>		
	パーミュー ダグラス	適用性 新 規	ブラッサムガーデン、 浜松シーサイト GC、 花屋敷GC、 祁答院GC (4)	[生育抑制による刈込み軽減] 芝生育期 0.07、0.11、0.14ml<150-250> ; 茎葉処理 ; プリミスWSB水和剤 0.03 g<150-250>		
3. YS-013 水溶液剤 各種アミノ酸 56.7g/L [ヤマ産業]	ベント グラス	作用性 新 規	東日本G研、 植調研究所、 中国G連G研 (3)	[根量増加効果] 芝生育期 ①4/下~5/上から3週間隔4回 500倍 ②4/下~5/上から2週間隔6回 1000倍 ; 茎葉処理	—	・ 適用場面の検討.